

教育 情報

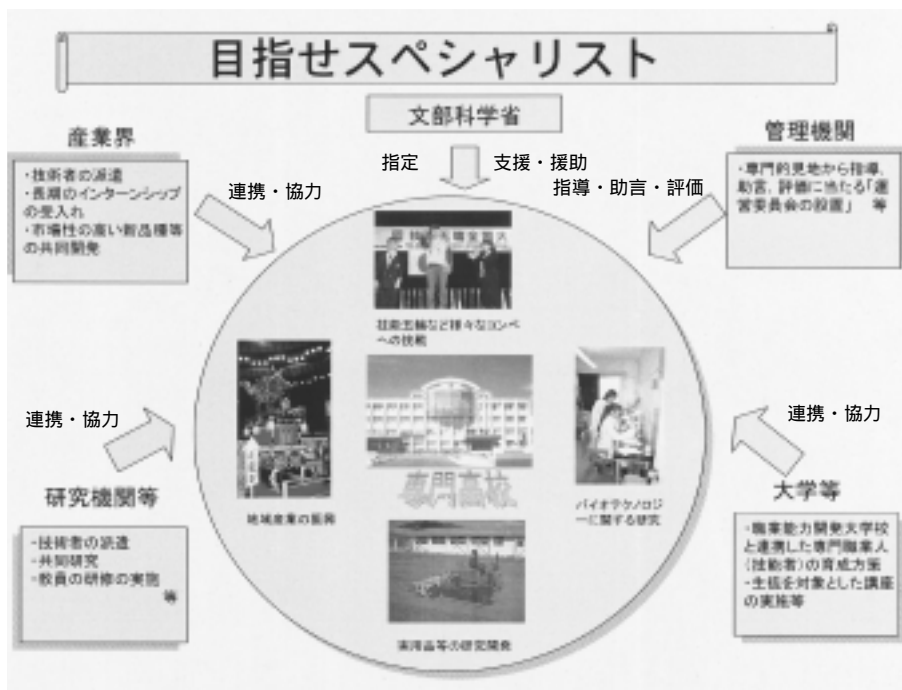
平成15年度「目指せスペシャリスト」について —専門高校の更なる活性化のために—

文部科学省初等中等教育局参事官付
産業教育調査官 萩 明

文部科学省では、専門学校の更なる活性化を図る観点から、本年度から新たに開始した研究指定事業である「目指せスペシャリスト」について、先般6月12日に当該高校を決定し、公表した。

1. 事業の背景について

近年、社会全体が構造的な不況の中、若者を中心に深刻な就職難にある。また、いわゆるフリーターの増加や新規就職者の3年以内



の離職率が高いことも問題になっている。

このような状況の中、特に学校教育においては、望ましい職業観・勤労観の育成や、将来の新たな産業創出につながるような起業家精神の育成、さらには専門的技能を有する高度専門職業人の育成がテーマとなっており、とりわけ専門高校においては、農業・工業・商業等の専門性を生かした教育を進める中で、これらの諸課題への解決が期待されるところである。

これまで 国や地方公共団体等においては、産業教育の実施に必要な施設・設備を補助したり各種イベントの実施を通じて、専門高校の底上げを図ってきたところであるが、全国の専門高校の中では、その専門性を生かした優秀な教育研究を実践している学校もあり、そういった先端的な教育研究を支援し、全国の専門高校に還元する観点から、本年から新たに「目指せスペシャリスト」として研究指定事業を開始したものである。

2. 事業の内容について

具体的には、地域の産業界や大学・研究機関と連携し、例えば、バイオテクノロジーやメカトロニクスなど先端的な技術・技能を取り入れた教育や伝統的な産業に関する学習活動を重点的に行っている専門高校を指定し、技術の修得法や技術の開発法、学校設定科目などのカリキュラム開発、大学や研究機関等との効果的な連携方策についての研究等を推進し、「将来のスペシャリスト」の育成に資するものとする。その他、取組みの例としては、次のとおり

- ・市場性の高い新品種の開発支援方策（希少植物の培養等）
- ・専門高校生が受験可能な高度資格への挑戦とその支援方策
- ・職業能力開発大学校と連携した専門職業人

（技能者）の育成方策

- ・専門高校の技術力を生かした海外協力
- ・研究成果の特許出願への挑戦と支援 など

3. 今回の決定について

本年1月に各都道府県等を通じ全国の専門高校等に募集したところ、62校もの応募があり、農業・工業・商業等の専門分野別の外部有識者で構成する企画評価会議で審査の上、このたび9校を決定した。

- 群馬県立前橋工業高等学校
- 埼玉県立深谷商業高等学校
- 千葉県立市川工業高等学校
- 岐阜県立岐阜商業高等学校
- 三重県立相可高等学校
- 京都市立洛陽工業高等学校
- 和歌山県立南部高等学校
- 高知県立高知工業高等学校
- 熊本県立鹿本農業高等学校

今回決定した平成15年度「目指せスペシャリスト」の研究開発課題及び研究開発の概要は、別表のとおりである。また、文部科学省のHP（<http://www.mext.go.jp/>）にも掲載されているので、是非ともご覧いただきたい。

4. その他

このたびの指定については、応募校数に比べ指定できる学校数があまりにも少なかったため、残念ながら指定できなかったが非常に優秀な研究計画を出してきた高校もあり、今回指定した学校を含め、これらの高校の今後の取組みを期待するとともに、文部科学省としても、これらの取組みを応援していきたいと考えている。

また、平成16年度概算要求においては、さらに多くの専門高校等を指定できるよう、拡充要求しているところである。